



建学の精神

神戸女学院は、愛神愛隣を建学の精神としています。
(マタイによる福音書 22 章 37 節～39 節)



神戸女学院 校章・マーク
1885年、第3代校長・院長のときに定められました。三つのクローバーをかたどり、キリスト教主義に基づく身体・精神・魂 (body・mind・spirit) の三者の一致調和した完全な人格の育成を目指す教育、という学校の理想を表わしています。

学校法人 神戸女学院

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1

TEL : 0798-51-8505 FAX : 0798-51-8506



創立

1873年(明治6)3月31日、二人の女性宣教師、イライザ・タルカットとジュリア・エリザベス・ダッドレーが神戸に到着しました。アメリカを旅立った時点では、日本国内に至る所にキリシタン禁制の高札が掲げられており、キリスト教徒の迫害が依然として続いていました。二人に事前の面識は無く、サンフランシスコから日本に向けて出航する定期船の船上で初めて顔を合わせました。熱い志と共に、不安もあったことと推察されます。

日本に到着した二人はまず、前年の暮れに日本人有志によって神戸で設立された英語学校の教務を助けることから活動を開始しました。この学校ではアメリカンボードの宣教師であるD・C・グリーンとデイヴィスが英語と聖書を教えていました。そして1873年(明治6)10月に、ここから独立してやはり神戸で私塾を始めました。これがのちの神戸女学院の前身となります。すぐにここが手狭になったため、翌年の1月に教室を移します。このとき教えていたのは老若男女合わせて20人から30人ほどでしたが、二人は女子のための寄宿学校を始めたいと考えるようになり、アメリカンボード本部に女学校開校の許可を求めます。

神戸伝道区の宣教師たちは、この私塾の順調な発展を見極めたうえで、「神戸に女子の寄宿学校を設立する時期に到達したことを確信する」と決議し、本部に報告しました。そして1875年(明治8)10月12日、山本通4丁目に女子のための寄宿学校を開校。〈女学校〉(通称、神戸ホーム)と呼ばれたこの学校が、のちの〈神戸英和女学校〉、現在の〈神戸女学院〉です。神戸女学院ではこの日を創立の日と定めています。

生徒たちの教育について、創立者であり初代校長となったタルカットは次のように語っています。「この少女たちには、単なる宗教教育のみではなく、彼女たちが他の人々の教師となってやっけるような、世俗の訓練をも受けさせたい」と。また「外国の生活の習慣を採用すると、元々の友人たちとあまりにも隔たってしまうから、少女たちは自分たち本来の簡素な生活様式を採るべきであると思っている」とも。このような考えから、寄宿舎は畳敷きの純和風、食事も和食でした。お作法の授業もありました。

創立の背景と歴史

神戸女学院は、創立以来日本の女子の知的向上をも視野に入れ、やがて女子高等教育を目指して歩むようになりました。

「生徒たちが他の人々の教師となれるように」教育する。

この目標は2代目校長のバージニア・オルツェイド・クラークソン(在任1877～1882年)に引き継がれ、さらに女子の高等教育を目指す方向へと動いていきます。マウントホリヨーク・セミナリー出身のクラークソンは、日本の女子の知的水準の向上を目指し、自分がアメリカで受けた高等教育を念頭において、これまで小学校程度だったカリキュラムを改訂し、学校を中等教育機関・英和女学校へと育て、1879年(明治12)には校名を〈英和女学校〉と変更しました。

女子高等教育機関・神戸女学院の基礎を完成させたのは、3代目校長・院長のエミリー・マリア・ブラウン(在任1882～1899年)と4代目院長のスーザン・アンネット・ソール(在任1883～1929年)です。中等教育機関となっていた英和女学校に相次いで着任した二人は、車の両輪となって次々に改革をしていきます。「この学校がやがてはカレッジになることが望めます。来日以來この目的に向かって着実に働いてきました」。ブラウンのこの言葉からもわかるように2人ははじめから学校をカレッジにすることを目標に来日しました。しかしそれは単なる女子のための上級学校ということではありません。タルカット以来守られてきた「他の教師となれるような」教育をより進めたものだったのです。ブラウンは言います。「妻や母親の教育と同様、教師の養成はこの学校の顕著な特色となるはずで。しかしこの養成は師範学校におけるやり方よりもむしろウエルズレーやスミスにおいて進められている方法に則ってなされるべきです。言い換えれば師範学校よりもむしろウエルズレーをこの学校のモデルとすべきなのです」と。

ここでモデルとされている学校はアメリカにおけるリベラルアーツ教育の女子高等教育機関であるカレッジです。リベラルアーツ・カレッジでは宗教と知性の融合を目指し、知的に高度な学問とキリスト教に根ざした宗教性を養う教養教育が行なわれていました。神戸女学院の宣教師たちはこのアメリカのリベラルアーツ教育を日本の女子高等教育に導入したのです。

その第一歩となったのが1885年(明治18)に設置された一年制の高等科です。その後、数度のカリキュラムの改訂を経て、1891年(明治24)に三年制の高等科が誕生します。これが現在に続く神戸女学院大学の基となっています。翌年には初めて高等科の卒業生を出し、1894年(明治27)に校名を神戸女学院 Kobe College と改称しました。そして1933年(昭和8)には、現在のキャンパスである西宮市岡田山に全学挙げて移転を果しました。以降、戦前戦中の困難な時期もキリスト教教育を守りました。そして戦後いち早く新制女子大学となり、リベラルアーツ教育の精神を守り続けて今日に至っています。



左 創立者 Eliza Talcott (1836～1911年)
アメリカンボード日本派遣独身女性宣教師の職。1873年(明治6)に来日し、神戸に着任。〈女学校〉(のちの神戸女学院)を創立。1880年(明治13)に学校を離れ、岡山伝道区に移りました。以後、日本各地で市井の伝道活動に従事し、晩年はダッドレー女史が創立した神戸女子神学校を拠点に活動。

創立者 Julia Elizabeth Dudley (1840～1906年)
アメリカンボード日本派遣独身女性宣教師。タルカット女史と共に来日し、神戸女学院を創立、運営に協力しましたが、1880年(明治13)に学校を離れ、女性伝道者養成のための学校(神戸女子神学校)を創立。以後、この活動に従事し、1901年(明治34)に引退帰国。アメリカで亡くなりました。
下 最初の校舎

